

V-Lowマルチメディア放送設備の例

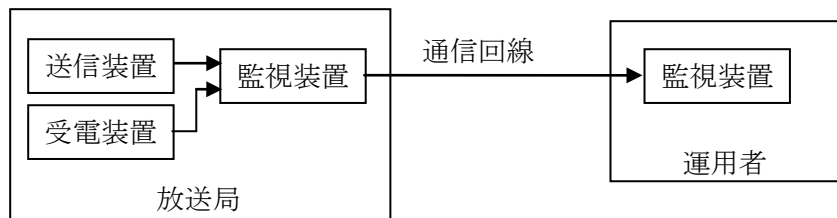
2013年8月

日本アンテナ株式会社

(1) 予備機器等

- ・放送停止等の影響を及ぼす範囲が限定的であるため、措置を要さない。

(2) 故障検出



(3) 試験機器及び応急復旧機材の配備

- ・試験機器を放送事業者の事務所等に配備する。
- ・保守拠点における移動式の電源設備の配備。
- ・通常想定される範囲の故障に対応する応急復旧のための機材（予備のケーブル等）を配備。

(4) 耐震対策

- ・自立柱に固定。

(5) 機能確認

- ・予備機器を持たないということから不要。

(6) 停電対策

- ・無停電電源を使用しバックアップ。
- ・非常用発電機の燃料は復旧までに必要な量を確保。

(7) 送信空中線に起因する誘導対策

- ・空中線までの給電線は同軸ケーブルを使用。

(8) 防火対策

- ・放送設備の電源系統のショート等に起因する火災を防止するため、受電設備に当該電源系統を切り離すためのブレーカーを設置。

(9) 屋外設備

- ・腐食等に十分耐えられるよう、ステンレス、真ちゅう材、溶融亜鉛メッキ材等の耐候性部材を使用する。

(10) 放送設備を収容する建築物

- 放送設備を収容函に納めることで、屋外環境の変化から保護する。
- 適当な地上高の確保。

(11) 耐雷対策

- 送信設備、電源設備ともアレスタを使用する設計となっている。
- 避雷針等の避雷装置の設置。